



鉄道駅のバリアフリー化・ホームドア整備の推進

- 歳を重ねても身体が不自由になっても安心・安全で行きたいところに行き、暮らしていける社会を目指していくため、バリアフリー化整備への支援を拡充されたい。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 鉄道駅のバリアフリー化のさらなる促進

- 「移動等円滑化の促進に関する基本方針」について、利用者数に関する要件の緩和と、「高架等の高所に設置された鉄軌道駅」の追加

(2) ホームドアの設置の推進

- 利用者数が10万人未満の駅に対するホームドア整備の積極的な推進

<国土交通省の概算要求等の状況> 【概算要求】

- | | |
|------------------------------|------------------|
| ・鉄道ネットワークの充実 | 200億円（対前年比1.01倍） |
| ・地域公共交通や観光地・宿泊施設等のバリアフリー化の推進 | 382億円の内数 |

2. 提案・要望の理由

(1) 鉄道駅のバリアフリー化

- 「移動等円滑化の促進に関する基本方針」では、「一日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上」である駅については、令和2年度までに、原則として全てについて移動等円滑化を実施することとされている。
- 利用者数3,000人以上の駅については一定の整備が進んでおり、さらなる高齢化の進展等に対応するため、段階的な対象駅の拡大が必要。
- また、高架等に設置された駅では、エレベーター等の設置が不可欠であるため、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」の対象要件に、「高架等の高所に設置された鉄軌道駅」を加えることで、施設設置管理者の取組を期待。

※本県ではJR湖西線が全線で高架・盛土により建設され、全ての駅が高所に設置。

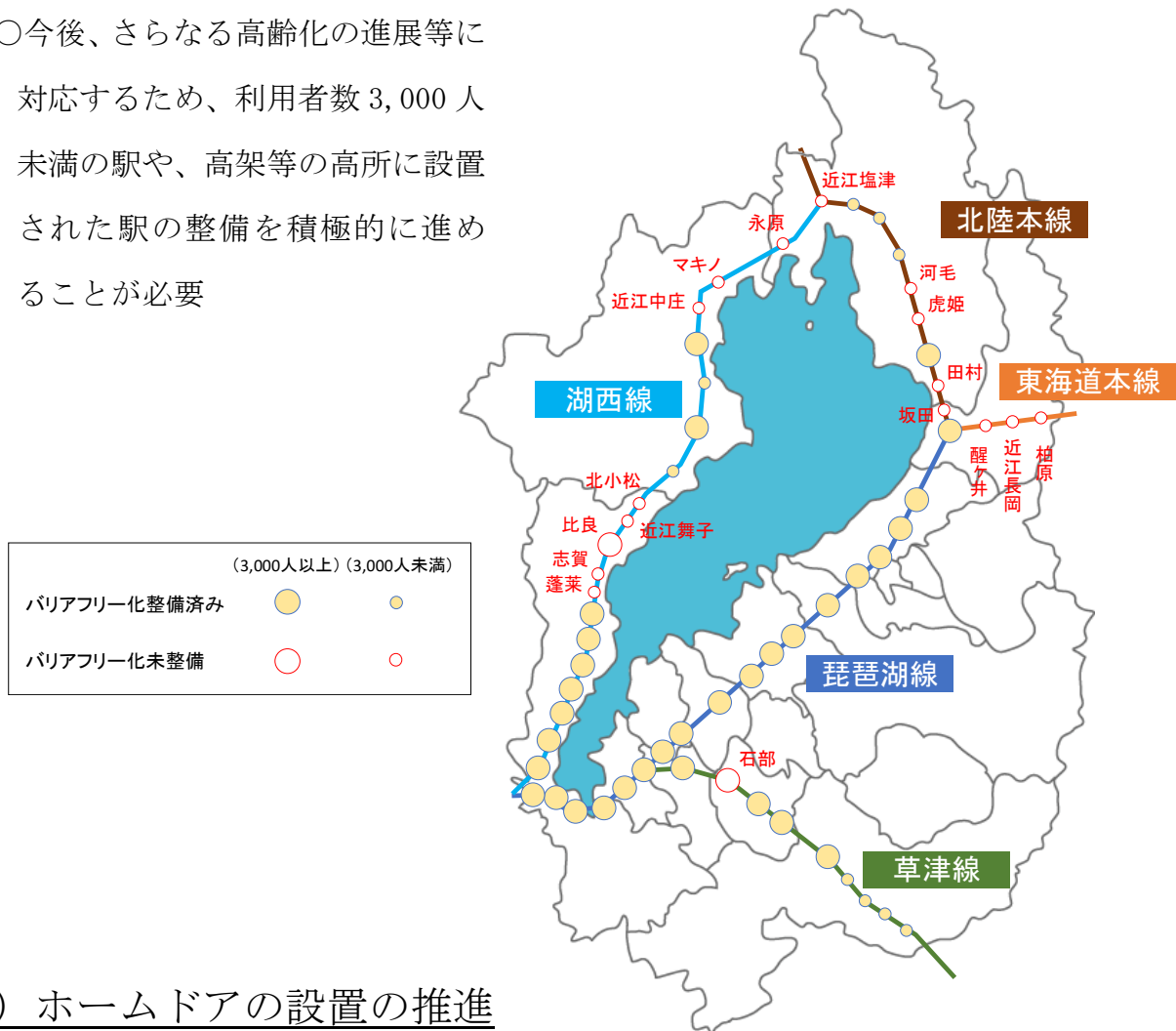
(2) ホームドアの設置の推進

- 交通政策基本計画において、利用者数が10万人以上の駅への優先的な整備を行うこととされているが、対象駅は都市部に偏在。
- 10万人未満の駅でも人身事故が多い駅に積極的に設置を進めることが必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 鉄道駅のバリアフリー化

- 本県では、これまでから「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき鉄軌道駅のバリアフリー化を推進
- 県内JR駅では、利用者数3,000人以上では35駅中33駅が整備済みであり、未整備駅（石部駅・比良駅）についても令和2年度に着手予定
- 今後、さらなる高齢化の進展等に対応するため、利用者数3,000人未満の駅や、高架等の高所に設置された駅の整備を積極的に進めることが必要



(2) ホームドアの設置の推進

- 利用者数が10万人未満の駅でも人身事故が多い駅に積極的に設置を進めることが必要

瀬田駅、南草津駅	4件
大津駅、膳所駅、栗東駅、野洲駅、安土駅	3件
唐崎駅	2件

過去5年間の鉄道駅における人身事故発生状況（2件以上発生駅） ※JR西日本より提供